

## 公益社団法人北海道社会福祉士会 第15回定時総会議事録

と き 2014年3月22日(土) 15:15~16:38

ところ 札幌市社会福祉総合センター

### 開会

司会の山西爾会員から開会の辞があり、議場の閉鎖が行なわれた。

### 議長選出

議長の立候補者がいなかったため、司会者が福士憲昭氏を推薦し承認された。

### 議長挨拶

福士憲昭議長から、就任挨拶があった。

### 資格審査員の選出

資格審査員として、富田健一会員と山崎真裕会員の2名が選出された。

### 議事録署名人の選出

議事録署名人3名のうち、1名については定款の定めにより議長がその任に当たることとし、他2名として菅しおり会員と古山明美会員が選出された。

### 会長挨拶

高橋会長から、「去年から新体制となり、会のあり方について改革していこうということで、企画委員会、各委員会の方でできることを事務局も一体となって、改善していこうと行っています。限られた時間ですが、活発な議論とご意見を頂戴いただければ幸いです。

日本社会福祉士会の総会が、先週に東京で開催され、2014年度の事業計画が承認されましたが、その中で会費の負担割合が6対4から5対5となりました。これは、より北海道士会が北海道らしさを追求して活動していく、そのための第一歩かなと思います。

皆様方のご協力をいただきながら進んでまいりたいと思います。」などの挨拶があった。

### 資格審査報告

資格審査員の山崎真裕会員から、次のとおり報告がなされた。

- ・正会員総数は、2014年1月31日現在1,754人、定足数は定款第18条の規定により正会員総数の過半数であることから、878人となること。
- ・出席者総数は、事務局に提出された書面表決書・委任状の総数1,152人、この会場の出席者数は42人であることから、出席者総数は、これらを合計した1,194人であること。
- ・出席者総数が定足数を満たしているので、この総会は有効に成立していること。

### 開会宣言

議長から 開会が宣言された。

## 議 事

### 議案第1号 公益社団法人北海道社会福祉士会定款の一部改正について

議案第1号について、高橋会長から議案書に基づき、「昨年10月の理事会以降、組織プロジェクトと題して、理事会及び企画総務委員会が中心となって、組織改革の方向性を検討しており、その一つとして会員の異動に伴う負担の軽減、経費削減の観点から定時総会を年2回から1回にすること、理事等の選任について、今までは、理事及び監事は、連続して4期を超えて同一の役職に選任することはできない、ということだったが、総会を1回にすることによって任期の関係で課題が出てくることを想定し、ただし特別な事情がある場合、1期に限り引き続き同一の役職に選任することができるものとする、さらには、予算及び事業計画については総会承認事項から理事会承認事項とすること。」などの説明があった。

(質疑応答)

なし。

(採 決)

議長から、本件は定款の改正であり、採決にあたっては会員総数の3分の2以上の多数をもって行うとの説明があり採決に入った。

書面表決 賛成 788名、反対 3名 委任状 361名

出席会員 賛成 42名、反対 0名

この結果、議案第1号は可決された。

### 議案第2号 公益社団法人北海道社会福祉士会の会費に関する規則の一部改正について

議案第2号について、竹田理事から議案書に基づき、「これまで個人会員は日本社会福祉士会の会費10,000円、北海道社会福祉士会に5,000円を納めてきたが、日本社会福祉士会と都道府県社会福祉士会が連合体に移行したことに伴い、会費の全額15,000円がいったん本会の収入とされること、この会費の徴収について、日本社会福祉士会に委託できるものとする。」などの説明があった。

(質疑応答)

道北支部の石山会員から「(会費徴収について)日本社会福祉士会が管理しているということだが、今後、(北海道社会福祉士会で)管理する手間暇、煩雑さ等、担当者の負担が大きくなるのが懸念される。(体制が)整備されてきちんと管理していくことになるのか。」などの質問があり、

堀川事務局長から、「常勤職員3名の中で会員管理の担当者を決め、ほかの2人がカバーするような形で進めたい。」などの答弁があった。

(採 決)

書面表決 賛成 785名、反対 6名 委任状 361名

出席会員 賛成 42名、反対 0名

この結果、議案第2号は可決された。

### 議案第3号 2013年度収支補正予算(案)について

議案第3号について、堀川事務局長から議案書に基づき、「経常収益計及び経常費用計における当初予算額、補正額等について、また、当日配布された「補正予算書(補正予算第1号)の内訳」に基づき、今回の補正予算が正会員会費収入の取り扱い変更、道から委託を受けた被災生活保護受給者再建サポート事業、道の採択を受けたキャリアパス支援研修事業及び業務量の増大に伴う職員の勤務時間変更等による人件費の増によるものである。」などの説明があった。

(質疑)

なし。

(採決)

書面表決 賛成 790名、反対 1名 委任状 361名

出席会員 賛成 42名、反対 0名

この結果、議案第3号は可決された。

### 議案第4号 2014年度事業計画(案)について

議案第4号について、高橋会長から議案書に基づき「基本方針として、(1)会員拡大と魅力ある組織づくり、(2)地区支部との連携強化と事業の一体化、(3)道民に信頼される組織づくりがある。

会員拡大については、特に道央支部といった大きな会員数を抱えている支部をターゲットとして会員の加入促進を図っていけないかという意見が出ており、より実効性のある会員拡大とその裏打ちとなる魅力ある組織づくりを進めていきたい。

地区支部との連携強化については、中長期的視点にも関わるが、地区支部を中心とした活動が、ますます活発になるような運営体制、予算配分を検討する年度としたい。

いずれにしても組織改革の動きは、会員制度だけでは終わらないので、引き続き理事会等々での議論、そして具体的な事業展開の中での会員皆様からのご意見等を踏まえながら変えていけるところはどんどん変えていきたい。」などの説明があった。

続いて議案書に基づき、

企画総務委員会所管事項について竹田理事から、「かわら版の発行について、発行回数を減らして内容の充実を図って行きたい。」などの説明、

生涯研修委員会について馬場理事から、「一昨年度から基礎研修Ⅰ、昨年度から基礎研修Ⅱを実施しており、今年度からは基礎研修Ⅲについても実施準備を進めている。」などの説明、

ぱあとなあ北海道運営委員会について田巻理事から、「成年後見人養成研修等に加えて、新しく市民後見人養成機関及び後見センターとの連携等に取り組みたい。」などの説明、

現場実習指導者研修委員会について山下理事から、「現場実習指導者の育成として従来通りの活動を予定している。」などの説明、

ケアマネジメント委員会について福森理事から、「昨年度に引き続き、介護保険法への関わりということで、(市町村への)委員の派遣、また、介護支援専門員模擬試験等を実施していきたい。」などの説明、

地域包括支援センター支援委員会について山崎副会長から、「施設職員向け高齢者虐待対応研修会、高齢者虐待対応専門職チームによる会員の派遣について、障がい者等地域生活支援委員会と合同で実施していきたい。」などの説明、

障がい者等地域生活支援委員会について林理事から、「例年実施している障がい者等地域生活支援セミナーについて、内容を障がい者の虐待対応というふうに焦点をあて、地域包括支援センター支援委員会と一部共通のカリキュラムでセミナーを実施する予定である。」などの説明、

生活困難者支援委員会について湯浅理事から、「福祉なんでも相談会の開催ということで、ソーシャルワーカーデーに合わせる形で各支部、全道一斉で、会の活動、社会福祉の活動も併せて関わっていきたい。」などの説明、

災害対策委員会について島田理事から、「災害支援のガイドライン、災害支援マニュアルといったところの作成の検討を進めていかなければならない。」などの説明、

福祉サービス第三者評価事業推進機構について野村理事から「受審数、評価を受ける施設が少ないというような課題のところから、自己評価研修会を、保育・高齢というような分野で受審数の促進等を図ることを目的に開催したい。」などの説明があった。

高橋会長から、「(議案書)16ページに事務所の記載があるが、3月1日にかでる2.7の方に移転しており、この議案書ができるのと入れ違いで旧の事務所で記載のままになっている。事務所の移転については、旧事務所がかなり手狭になっていた。たまたま、かでるの方に空きができたということで、道の方から話があったもの。」などの説明があった。

(質疑)

道北地区支部の石山会員から、「かわら版(の発行回数)を減らして充実させていくことは可能か。」などの質問があり、

竹田理事から、「これまでは会員だけに配信であったが、広く一般の市民にも活動を知っていただくようにしたい。また、白紙に2色刷りで手に取っていただける見やすい形を考えている。」などの答弁があった。

石山会員から、「生涯研修について、今日の研修でも話を聞いたうえで専門職として何ができるかという、ワークショップなり演習の場があったらもう少し充実したのではないか。今後の研修でイメージしていることや、変えていけるのであれば今後検討し、委員の人たちにも協力をいただきたいと思ったので。」などの質問があり、

馬場理事から、「石山さんから頂いた意見も含めて、所管する委員会で検討

し、多くの方に内容が実感できるような演習もできるようにしていきたい。」、高橋会長から「社会福祉士セミナーは2014年度から企画総務委員会が所管となるが、会員同士のネットワークづくりに取り組んでまいりたい」などの答弁があった。

石山会員から、「福祉なんでも相談会の開催、非常に良いことだと思うが、本当にここに相談に来るのか、戦略的にやっていかないとダメなのではないか。」などの質問があり、

湯浅理事から、「初めての試みで試行錯誤しながらだと思ふ。介護福祉士会とか4団体と連携をとりながら道民に向けて発信できればと思っている。」などの答弁があった。

石山会員から、「オスキーなど、最初にやっていた学校がやらないと言ったりしている。他の業界の方も是非そういうものをやって欲しいと声を上げているが、社会福祉士会はどう対応しているのか。」などの質問があり、

山下理事から、「積極的にやられるべき学校がされていないという事実があるので、北海道社会福祉士会として、北海道社会福祉士養成校協会の方に要望書を送付したところです。」などの答弁があった。

十勝地区支部の宮澤会員から、「ばあとなあ業務監査委員会の設置、これは新規事業と聞いていないが、昨年度もあったかどうか確認したい。また、委員会の設置の根拠となる規程について明示していただきたい、運営要綱か。」などの質問があり、

高橋会長から、「もともと設置する必要があって検討されており、新年度、実際に委員会を立ち上げるように準備をしており、新規事業である。また、理事会で検討し承認を受けている。」などの答弁があった。

(採決)

書面表決 賛成 790名、反対 1名 委任状 361名

出席会員 賛成 42名、反対 0名

この結果、議案第4号は可決された。

議案第5号 2014年度収支予算(案)について

議案第5号について、堀川事務局長から議案書に基づき、「経常収益計について総額44,761,474円、経常費用計について総額46,201,520円、この結果、正味財産期末残高は、6,508,589円となっている。

また、今回の予算は各委員会からの予算要求方式に基づくものであること、詳しくは本部事業別予算及び各地区支部予算を見ていただきたい。人件費等の事業費への按分表及び釧根地区支部における特定費用資金準備金についても、掲載している。」などの説明があった。

(質疑)

なし

(採決)

書面表決 賛成 788名、反対 3名 委任状 361名

出席会員 賛成 42名、反対 0名  
この結果、議案第5号は可決された。

### 報告事項

#### 報告第1号 理事会承認事項について

飯島理事から議案書に基づき、「苦情対応規程の制定について、業務量の増大に伴う職員の勤務時間の延長をはかるための就業規程及びパート就業規程の一部改正、会費収入の取り扱い変更に伴う経理規程の一部改正について及び現事務所が手狭であること等から事務所をかでの2.7に移転する事務所の移転について説明があった。

(質疑)

なし。

(報告案件であり採決なし)

### 議長退任


すべての議事が終了、議長が退任した。


### 閉会

司会の山西爾会員から閉会の辞があり、総会が終了した。

上記議決を明確にするため、議事録を作成し、議長及び議事録署名人は次のとおり署名捺印した。

2014年3月31日

議長 菅 士 憲 昭 

議事録署名人 菅 しおり 

議事録署名人 古山 明美 

捨印

